

## 地域コミュニティーを高めて

### ～地区防災訓練（中組地区）～

4月20日（日）西結・中組地内で防災訓練が行われ、同区民ら約100人が参加しました。同地区では、毎年この時期に開催され、今年で10回目となります。

訓練は大規模地震発生を想定して行われ、参加者は避難誘導訓練や大垣消防組合中消防署東分署職員の指導による機械器具の取扱い訓練、消火器による初期消火訓練などを学びました。また、地震体験車に4～6人ずつ乗車して震度7の揺れを体験し、改めて地震の恐ろしさを感じていました。



中組地区在住 おおひら ゆいこ 大平 結子さん

地震がきたときは、ヘルメットをかぶって、素早く避難の行動をとりたいです。



▲子どもたちも夢中で訓練に参加

## 消防団での経験が活きました

### ～初期消火で感謝状贈呈～

4月24日（木）大垣消防本部で、森部区在住の日比野章一さん、山北一夫さん、山北とし子さんに対して感謝状が贈呈されました。

これは4月14日（月）に森部地内で発生した建物火災において、近くで農作業をしていた3人の方が、携帯電話で119番通報をするとともに、初期消火を行ったことにより、建物への被害を最小限に食い止めることができたことに対して贈られたものです。

感謝状を受け取られた3人の方は「火事を発見したときは、時間との勝負と思い、とにかく早く行動しました」と話されました。



▲感謝状が贈呈された皆さん（右から山北とし子さん、山北一夫さん、日比野章一さん）

## 心温まる贈り物

### ～安八町赤十字奉仕団「ひとり暮らし高齢者訪問活動」～

5月14日（水）安八町赤十字奉仕団（梶井和子委員長）の皆さんが、町内のひとり暮らしの高齢者に元気を出してもらおうと、心を込めて作ったきな粉餅とおはぎに、タオルと心温まるメッセージを添えた贈り物を届ける活動を行いました。当日は、民生委員さんの協力で町内ひとり暮らし高齢者宅84世帯に届けられました。

梶井委員長は「受け取られた皆さんの心に、温もりが残るものとなればうれしいですね」と優しい表情で話されました。

また、同奉仕団は動物愛護団体の『いわき「犬猫を捨てない」会』への寄附や勤労青少年ホーム周辺の清掃活動など、温かい気持ちで様々な活動を展開してみえます。



▲安八町赤十字奉仕団の皆さん（手前はひとり暮らし高齢者宅への贈り物）